

関西女子学生バスケットボール連盟
2023 年度 理事会 議事録（案）

日時：2023 年 4 月 29 日（祝・土） 17:10～18:00

場所：ベイコム総合体育館会議室と Zoom による遠隔会議の併用

出席者

野老 稔、中大路哲、丸岡信吾、荒木初広、西川幸穂、坂井和明、古本ルミ、畑岸邦枝、
今西正泰、村田尚美、佐藤亜紀子、村上なおみ、平田緩子、鈴木慶太、玉井里英、瀧本真己、
長渡由子、山中博史、房本浩希、小林未季代

（Zoom）石橋將広、柳生志乃、山本 孝、石川 猛、小畑 治、白井 徹、東 亜弓

〔学生委員〕 島 美悠、山路佳奈、永吉芽衣、船田理紗子、高田奈々、鶴田彩海、

定影桜優、中間莉子、大久保結子

（書記）定影桜優

議案 以下の通り

2. 今年度の事業報告と事業計画
3. 荒木理事長からのご挨拶

古本副理事長・総務部長から、第 3 回理事会の開会にあたり、出席者 27 名（zoom を含む）、委任状出席者 7 名で、出席理事が過半数に達しており、理事会が成立していることが報告された。

期初の申し合わせに従い、野老会長を議長として、第 3 回理事会を開会した。

準備された議題に入る前に、野老会長より、今大会のパンフレットの制作過程でミスがあったことに関わり、その経緯、顛末について説明するように求められた。

これを受けて、西川副理事長・運営管理本部長より、口頭にてミスの概要とその発生要因、再印刷を決断したことやそれに要した経費などが報告され、学生委員はじめ関係者に多大な負担をかけてしまったこと、回収は最大限の手立てをとったことなどが説明された。続いて、荒木理事長から、一連の事態を踏まえたお詫びと今後の対応策について説明があり、野老会長より、理事長の役割、各部部長の役割についていっそうの自覚をもって、再発防止と適切な学連運営にあたってもらいたいとの、本件総括があった。

審議事項

1. 2023 年度総会議案について

西川副理事長より、5/4（木・祝）18 時より、東和薬品 RACTAB ドーム会議室において、2023 年度総会を開催し、2022 年度事業報告・決算、2023 年度事業計画・予算および 2023～

2024 年度の連盟役員について、この後の議題で理事会での確認を踏まえて、報告提案し、承認を得ることとしたいと報告し、報告内容は承認された。また、学連役員に関しては、法人化の取り組みの途上であることから、任期中に変更が発生する可能性があることも説明することとした。

2. 2022 年度事業報告と 2022 年度決算、及び会計監査報告について

島学生委員長より、資料 1 にもとづいて、2022 年度事業報告書の説明があった。2022 年度役員一覧に学生委員を加えたこと、全関西女子学生バスケットボール選手権大会の予選リーグおよび決勝リーグ、5～8 位決定リーグの星取表を追加したことなどが報告された。

続いて、今西財務部長より、資料 2 にもとづいて決算報告、会計監査報告の説明があった。昨年度の収支は 1,116,315 円の支出超過となり、次年度繰越金は 2,087,084 円となったこと、支出超過の要員は、コロナ禍により大学体育館の使用が制限されたこと、全関西に関してはグループリーグを導入したことで試合数が増加し、加えてそれに伴う審判数の増加などによることが報告された。また、新たに全国新人戦ブレ大会が開催され 20 万円の運営協力費を支払ったことや、学連員増加に伴う交通費の増加が発生したことも付け加えられた。

今西財務部長より財務分析の説明があり、YouTube が本格化してきたことで経費がかかっていること、部員数の減少で加盟校の減少なども懸念されることなどが意見としてだされ、スポンサーを広げることの重要性も指摘があり、事業報告及び決算は承認され、課題は引き続き検討することとした。

3. 2023 年度事業計画と 2023 年度予算案審議について

島学生委員長より、資料 3 にもとづいて、2023 年度事業計画の説明があった。2023 年度より全国新人戦について事業計画に織り込むことが説明された。

引き続き、今西財務部長より、資料 4 にもとづいて、2023 年度予算案が示された。5 月からコロナも緩和されるため、従前の有観客での運営やパンフレットの売上、各チームでの新入部員の勧誘等、運営協力費の収入を増やす取り組みなどに尽力することが呼びかけられた。いずれも理事会として承認した。

4. 日学主催「第 1 回全日本大学新人大会」の予選会について

石橋競技部長より、資料 5 にもとづき、全国新人大会の説明があり、今年度は関西からは 4 校（うち 1 校分はベスト 4 枠）となり、シードとの関係もあり、順位を固めて推薦が必要となることから、予選会は、全関西ベスト 8 のチームを対象として、5/28、6/17,18 の 3 日間で予選会を開催することが説明された。出場推薦期日は 6/12 と設定されているが、今年度限り、6/19 に推薦することで了解されているが、次年度以降、予選会のあり方を検討する必要があることが説明された。

理事会として提案を承認し、予選会を実施することを確認した。

報告事項

1. 2023 年度加盟の手続状況

古本副理事長より、資料 6 にもとづいて、2023 年度の加盟状況について報告された。今年度 49 校が加盟手続きを行い、昨年度より 3 校減少しており、未加盟校に引き続き呼びかけを行っていくこととした。

2. 2023 年度全関西女子学生バスケットボール選手権大会の実施状況（中間報告）

島学生委員長より、資料 7 にもとづいて、2023 年度全関西の中間報告を行った。競技部課題としては、選手のジェルネイルの取扱い、エントリーミス（昨年度の学年記載）、車両入構ルールの徹底、ボールの管理と遺失物管理などが、総務部課題としては、5/5 のハーフタイムショーの件が、財務部課題としては、パンフレット販売状況や Web 販売の取扱いの件が、そして審判部課題として、得点板表示やユニフォーム番号間違いの取扱いについて、それぞれ報告があった。

3. 2023 年度西日本学生バスケットボール選手権大会の準備状況

荒本理事長より、西日本の準備の進捗状況について口頭で説明があった。参加校は 74 校から 68 校に減少、組み合わせについては競技部で抽選を行い 5/1 にリリース予定、大会日程について、女子は 6/5~6/11 としていることが報告され、次年度以降の課題として、日程を 6 月初旬に終了できるように調整できないか検討したいとの説明があった。なお、最終の土曜・日曜が有料日になる予定。

4. 学連委員の選出状況について

島学生委員長より学連員状況について、武庫川女子大学から新たに 2 名参加、大阪産業大学、奈良学園大学から 1 名ずつ参加が予定されていることが報告された。また、全関西をもって財務部 船田、競技部 永吉が引退することも報告された。

その他

1. 学生委員からの報告事項

特になし。

2. 総会及び次回理事会の日程について

古本副理事長より総会及び次回理事会の開催日程について、総会は 5/4 試合終了後 18:00 より行うこと、次回理事会については 7 月上旬を予定していることが報告された。

3. その他

荒本理事長より 2 点、口頭で報告があった。

豊中市との連携について、9月のリーグ戦期間中に豊島体育館で午前中に小学生を対象としたクリニックを行い、午後からリーグ戦を行うという調整を行なっている。

5/14に阪南大学女子バスケットボール部創設のためのイベントを行うので、関西女子学連として協力する。

野老会長より閉会を宣し、中大路副会長より閉会の挨拶があり、理事会を終了した。

以上